

福祉団体

練馬家族会

Fellowship of Nerima for the family of mentally handicapped persons

What's グランドデザイン案

小泉内閣が推し進める「骨太の改革」の一環として出されたこの方針は、精神障害福祉サービスの未来を決定付けます。知らない間に、あなたは損するかもしれません。動向を、ぜひ心に留めておいてください。

● グランドデザイン案とは

「今後の障害保健福祉施策について(改革のグランドデザイン案)」(以下グランドデザイン)は、2004年10月に厚生労働省から発表されました。その概要は、知的・身体・精神の3障害各々の法律は存続させながら、共通した福祉サービスのみを一元的に規定する、新たな法律を検討するために作成した資料のことです。今後、国会の審議を経、障害福祉法(仮称)として施行されます。

● 提示された3点の目標とは

● 障害保健福祉の総合化

市町村中心の一元的体制かつ地域福祉の実現を目指すために、必要なサービスを受けながら暮らすことができる地域作りを進めます。

● 自立支援型システムへの転換

保護から自立へ、そして自己実現と地域社会へ貢献できる仕組み作りを推進していきます。

● 制度の持続可能性の確保

給付の重点化及び公平化、制度の効率化かつ透明化を目指し、国民すべてに信頼されるシステムにします。

● 今回見直される部分

一番問題になるところとして、通院医療費公費負担制度(通称32条)が次のように見直されようとしていることです。

- 一定所得以上の精神障害者は、応分の医療費を支払う
 - 指定医療機関制度を設け、32条対象の医療機関の幅を狭める
- また、次の6点についても見直しが見直しが検討されています。

- サービス提供の主体を市町村とする

- 各市町村で相談支援事業の強化をしていく

- 障害者のサービス利用案やプロセスを審査会が決定する

- 福祉サービス利用のために、介護保健と同様に客観的な尺度を設定する

- 福祉サービスを利用した場合、利用額に応じた負担額を支払う

- 国・都道府県の補助制度の見直し

● 今後の動向

今期通常国会に関連法案が提出される予定です。小泉内閣の特徴とも言える、十分な審議がされないうちの法案の成立も危惧されますので、練馬家族会会員一同、注意深く動向を見守っていきましょう。

2月18日(金) 石神井区民交流センターに於いて 練馬家族会主催第7回講演会が開催されます

昨年3月の第5回講演会では、白石弘巳医師を招き、70名弱の参加者を集め、精神病治療における薬の知識と、家族の役割を教いただきました。続く、昨年6月の第6回講演会では、地元練馬の鷺山医師による、精神病差別の歴史と啓発についてご教示いただき、好評を得ています。

練馬家族会が正式に主催する講演会も、今回で第7回目を迎えることができました。今回は、家族会のNPO法人化を目前に控え、広く市民へ向けて、こころの病についての知識を得てもらうための講演会とな

ります。

講師には、丁寧で分かりやすくウィットに富んだお話が定評の、地元大泉病院副院長の片山信吾医師をお招きします。健常者の誰もが、いつ発症してもおかしくない、さまざまな心の病気の症状について、広く紹介していただき、無知から来る治療の遅れや偏見を少しでも減らすことの一助となる講演会を予定しています。当事者をお抱えになられていない方も、いざという時の参考になりますので、ぜひ、お誘い合わせの上、お越し下さい。

会場は、家族会としては初めて

利用する、西武池袋線石神井公園駅前のピアレス内にある区民交流センターの集会室です。ここでは、160名の収容能力がありますので、多数のご来場をお待ちしております。

詳細は6ページに掲載しています。



家族会事務所へ行こうよ!



練馬家族会事務所はこんなところです。

練馬家族会事務所が開設されて、早2ヶ月になろうとしています。その間、会報の発送業務、以前は公共施設を借りていた役員会なども、新事務所にて行なうようになりました。また、何人かの会員さんが立ち寄られたり、あるいは留守番を手伝ってくださったりしています。しかしながら、私たちのお城とも言える、この素晴らしい事務所に、未だお越しになったことがない会員さんの方が多いことは残念でなりません。そこで、紙上ですが、事務所内外の様子を紹介していきます。

事務所玄関はガラス張りで、入口の外から見て左側には、作業所で生産された品物を展示し、委託販売をさせていただいています。外を歩く人も気軽に覗いて行かれます。



入口を入ると、大きなカウンターがあり、会報やいろいろなチラシ、パンフレット類がたくさん並んでいます。カウンターの向こう側には、大きな白いテーブルが置かれ、椅子も10脚以上あります。ここで、会

議をしたり、会報折りなど様々な事務を行ないます。スチールの本棚には、会報のバックナンバーや資料、会員提供の書籍が並んでいます。コンピュータは、もちろん、インターネットにつながっています。



事務用の机の上にはFAX電話の他、毎日の作業を報告する日報があります。壁には、作業に必要な情報を記したいろいろな紙が貼ってあります。連絡業務は忙しく、大変です。

反対側の壁には、会員さんが毎月取り替えてくれる、手作りのタペストリーが飾られ、空気を和らげます。



踏み段を上がると、小さなキッチンとトイレがあります。冷蔵庫や電気ポットは会員さんの寄付です。食器類や飲み物が常備されていて、来客をすぐに接待できます。

裏口を開けると、そこは新桜台駅です。金網が無ければ、徒歩3秒なんですけど…。



事務所は商店街にありますから、いろいろなお店があって、とても楽しいです。江古田駅に近い方は、昔ながらの市場や生鮮食料品店が林立し、ちょっと懐かしい気分を味わえます。

事務所のお向かいには、電気屋さんや洋菓子屋さんです。電気屋さんには、店頭の照明を修理していただきました。この商店街唯一の洋菓子屋

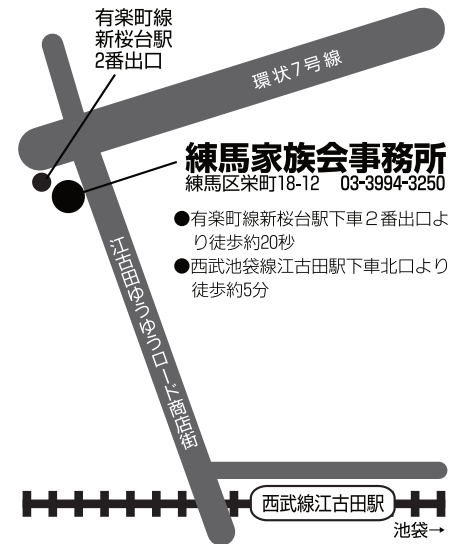


さんは、手作りの美味しいお菓子が評判で、お客さんがたくさん来ます。右斜め向かいには、紳士服のブティックで、商店会の会計さんです。左隣は、昔ながらのラーメンが美味しい中華料理屋さんですが、なかなか開いていることがなく、少し残念です。



タイミング良く入れた人はラッキーですね。

練馬家族会事務所の定休日は水曜日ですが、水曜日以外は、午後1時頃より誰かが詰めていますので、お近くにお越しの時は、ぜひお立ち寄り下さい、というよりも、家族会の会員さんは、春までに一度は、お茶でも飲みに来て下さいね。



練馬家族会事務所
練馬区栄町18-12 03-3994-3250

- 有楽町線新桜台駅下車2番出口より徒歩約20秒
- 西武池袋線古田駅下車北口より徒歩約5分

精神研都民講座・参加報告 「分子生物学から見た統合失調症」

2004年12月21日14:00~15:30 会場：千駄ヶ谷 津田ホール 講師：糸川昌成氏

Ⅰ. はじめに

報告の前に、まず、なぜ遺伝子研究なのかを、講師の書かれた文（『精神研ニュース』第288号 H14.12.10）を引用して説明する。統合失調症の原因解明には3つの困難があるという。

1つは、「疾患に特異的な生物学的特徴」が捉えられていないことである。生物学的特徴とは、例えば糖尿病においては「尿が甘い」というようなことである。この「血糖が高い」という生物学的特徴を把握していれば、「その責任部位を探り、モデル動物を作り、その結果を病める人々へ還元する」という、3つの閉じたステップが完成するが、統合失調症では、その『糖』が見つからない状態である。

2つ目は、「単一の疾患である保証がない点」である。統合失調症の臨床症状が、妄想や幻聴として似通って現れるため、原因の異なる脳機能障害によるものであっても、1つの病気のように見えている可能性が考えられる。

3つ目は、「おそらくこの疾患が人間固有の病気である」ことである。妄想、幻覚、思考の貧困等の精神現象は他の動物で確認することが難しく、統合失調症の原因解明において、

糖尿病研究と同じようなステップを踏めないのである。

統合失調症は「弱い効果の複数の遺伝子に環境要因が加わった相互作用の結果である」と言われている。それゆえ、ヒトそのものの遺伝子进行研究する意義がある。

Ⅱ. 講演内容

講演内容の概要は、以下の通り。

1. 統合失調症の遺伝子研究

統合失調症における遺伝的要因の関与は双生児の研究で指摘されていることだが（一卵性双生児の発症率43%、二卵性双生児20%）、一卵性双生児の遺伝子は100%同じものなのに発症率43%ではメンデルの遺伝法則に合わない。つまり、統合失調症は強い効果の単一遺伝子疾患（ハンチントン病や進行性筋ジストロフィーなどのいわゆる遺伝病）ではなく、弱い効果の遺伝子による複雑遺伝子疾患である。これは糖尿病や高血圧のような「ありふれた病気」であると言える。なぜなら、ハンチントン病などは10万人に1人の発症率だが、統合失調症のそれは100人に1人だからである。また、家系を用いて疾患の原因となる遺伝子の場所を染色体上で見つけた研究（連鎖研究）において、統合失調症で連鎖が確認された部位は12ヶ所

しかない。

弱い効果の遺伝子の研究には、目標となる遺伝子（候補遺伝子）を選ぶが、統合失調症においてはドーパミン受容体、セロトニン受容体などのグルタミン酸受容体がこれにあたる。

ある麻酔薬には、グルタミン酸受容体の働きを悪くする作用があるが、これを投与すると統合失調症と似た陰性症状を起こすことから、統合失調症において、「グルタミン酸受容体機能低下仮説」が指摘されている。

グルタミン酸受容体の1つである特定の遺伝子は、思春期以降に発現するのだが、統合失調症の発病が思春期以降に多いので、これが遺伝的個人差に関係しているのではないかと注目された。その結果、この遺伝子が解析され、統合失調症患者は、ある特定のパターンを多く持っているということが分かった。また、このパターンを持つ人の発症率は、普通の約2倍になる。

前述のパターンがグルタミン酸受容体発現を抑制することは試験管でも確認され、死後の脳でも同様であることが分かっている。つまり、グルタミン酸受容体内部で、ある特定のパターンが多いほど、グルタミン酸受容体の働きが悪く、陰性症状が強いといえる。これは、グルタミン酸受容体機能低下仮説を裏付ける。

（会員 依田）

次号へ続く…

会場の広い和室では、ゆったりとしたテーブル配置で、御馳走がきれいに並べられ、それだけでもう感激でした。



昨年末12月17日に、練馬家族会の望年会が開かれました。参加者は28人で、そのうち当事者は5人でした。

会場の広い和室では、ゆったりとしたテーブル配置で、役員の方の心のこもった御馳走がきれいに並べられ、それだけでもう感激でした。会長の挨拶に続いて、来年がそれぞれの人達にとって望みのある年であるようにとの思いを込めて乾杯をしました。

お料理は、おにぎり、のり巻き、サンドイッチ、ミートローフ、玉子焼き、唐揚げ、煮物、サラダ、お刺身、その他、まだまだいろいろ。デザートはフルーツまで、何を食べてもおいしくて、当事者である息子は、今年で3回目の参加ですが、今回は期待以上で、今までで一番おいしいと喜んでいました。周りの人とおしゃべりをしたり、おいしかった料理のレシピを教してもらったりと。宴もたけなわの頃、来年の目標を一人ずつ発表し合い、共感してうなずいたり拍手をしました。そして、後から来た人のために何度も乾杯をしました。



穏やかで、和やかで、うれしい時間が過ぎて行き、いよいよ小島さんのフラダンスが始まりました。踊りに合わせて衣装を着替え、ユーモアを交えながらの素敵な踊り。最後にみんなで立ち上がり、一緒に踊って、笑って、今年の辛かったこと、悲しかったことが少しずつ流されて行くような、楽しいひとときでした。その後、クジ引きもあり、賞品が当たるたびに喚声が上がりました。本当にあっという間の3時間でした。

座ってゆっくりと歓談できて、とても心の暖まる会でした。お料理を作って下さった役員さん、会員さんに感謝します。ありがとうございました。

最後に、望年会と一緒に参加した息子(当事者)からのメッセージです。

「来年はもっと大勢の人が参加して(もちろん当事者も)、こんなにホッとできる場所があることを知って欲しい、楽しんで欲しい。」とのことです。(会員 K.K.さん)



参加者感想文

当事者である夫、私、子供で参加。アットホームな雰囲気になんか安心感を得たらしく夫も楽しかったと申しています。お食事はYさんと役員の方々が力を合わせて作られたそうですね。とても美味しかったです！フラダンスをみんなで踊った時は、あちらこちらで笑いが起こり

宴席が一層和みました。来年もぜひ参加したいです。(S.S.)

娘と私は、会の皆さんとフラダンスやおしゃべりで楽しい時間を過ごしました。行く前、私達がそこで良いコミュニケーションを持てるか不安でしたが、参加してみると、それは杞憂でした。娘はダンスや、特にたくさんの手料理でリラックスしたようです。私事ですが、

2004年練馬家

2004年12月17日(金) 13:00～

(日本ではあまり問題にされませんが、) 予告無しに写真を撮られるのは苦手です。(T.N.)

家族として、当事者が良くなる見込み、そうあって欲しい、と願いを込めて名付けた「望年会」に、今年で二度目の出席でした。家族、当事者を交えた会席での、終始笑顔の絶えない雰囲気は何にも増して代え難いものでした。会員の方々の手作りの料理、フラダンス、プレゼントの抽選会、来年の抱負等々、3時間を超えて、和やかな時間もアツと言う間でした。皆様の「元気」を沢山いただいた有意義な望年会でした。来年も大勢の方々のご来席を願っております。(H.S.)



家族会の望年会に参加したのは、3回目になりますが、今回のような手作りの会は初めてです。12月の開所式も役員の手料理でしたが、見事なお料理が並びアットホームな雰囲気いっぱい、とても良かったです。皆さんと一緒に踊ったフラダンスや、プレゼントの抽選も、和やかに盛り上がり今までに無い楽しい望年会でした。これからも和める癒せる「練馬家族会」であって欲しいと思っています。(N.S.)

始めて参加した望年会は印象深いものでした。まず、「望」年会という言葉が私の胸にストンと落ちて参加が楽しみだったこと、皆さんのとてもおいしい手作り料理（直ぐにトライして私のレパートリー不足に大いに役立ったのです）、フラダンスののびやかな調べと共に踊った楽しさ、共通の志を持った人々と共にいることの安心感など有意義な会でした。今回来られなかった方々、来年はご一緒に参加しませんか？(K.Y.)

には、今までの経験から及びもつかない料理が殆どテーブルから消えたことである。(小生は今まで数多くの宴会に出席してきたが、料理が半分ぐらい片付けば良い方である)このウーマンパワーがある限り、各家庭の当事者はしっかりと支えられ、来年も明るい希望があると確信した。S副会長が土産として提供してくれた蕎麦を手におろ下げて、ほろ酔い気分が家に辿り着いた。幹事の皆さん有難う御座いました。(K.Y.)

家族会「望年会」

16:30 於：サンライフ練馬 和室

皆さんの元気な顔を見て、今年も一年経ったのだなあ、としみじみ思いました。フラダンス、そしてくじ引きと、とても楽しかったです。また、お料理には感心しました。Yさんを始めとして、ご苦労様でした。ありがとうございました。これからも皆さんからのお話を聞いて、元気を貰いたいと思っています。(M.K.)

ンアルコールの望年会と聞き、当初がっかりした(自前でこっそり持参したが…)。役員さんによる心のこもった手料理がテーブル一面に、食べきれないだろうと思われるほど沢山に並べられた。料理を食べながら楽しく談笑、会員のフラダンスショー、飛び入りも混じり、有志のフラダンス、会員が提供してくれた品物を、ちょっと早い、抽選によるクリスマスプレゼント等和やかに進行された。驚いたことに会が終焉を迎えるころ

2005年に望みを託して、楽しかった望年会が終わりました。この記事が読まれる頃は、もうお正月気分も抜けて、練馬家族会は2004年度の締めくくりをしています。今年2005年は練馬家族会が新しく生まれ変わります。その準備が始まっています。

今回お越しになれなかった会員の皆さんも、次の望年会では、元気に一緒に楽しみましょう。



福祉用語の基礎知識

耳慣れない専門用語の意味を理解することも、福祉活動の第一歩とも言えます。

● 当事者

精神障害福祉の用途で使われる場合、精神病に罹患している人のことを指す場合が多い。他に言い方はないかという議論もあるが、今のところ適切な単語は見当たらないようだ。

● 妄想・幻聴・幻覚

統合失調症の代表的な症状。実

際には起きるはずがないことを妄想して不安になり外出が困難になったり、幻聴・幻覚によって不思議な体験をし、奇異な行動をとったりする。

こういった症状を、自分の感覚できちりと頭の中で理解できなくなるために、人とのコミュニケーションがうまくいかなくなったり、イライラしたり、回りの刺激に敏感になったり、疲れやすくなったりするなど、日常生活に支障をきたす様々な弊害がおこってくる。

● 認知障害

感覚から取り入れた情報を、脳で加工しそれを統合して、目的に見合った行動をすることができなくなる。統合失調症では鏡像

認知障害と言う症状がある。また、痴呆症患者の症状の代表的なものがこの認知障害であるため、「痴呆」が改められ「認知症」という病名になったことは記憶に新しいできごとでもある。

● 錐体外路症状

抗精神病薬を服用することで発症する副作用の総称。

代表的な症状として、「パーキンソン症状(手が震える・ヨチヨチ歩きになる等)」、「アカシジア(じっとしてられない・無意味に歩き回る等)」、「ジストニア(目が発作的に上を向く・ろれつが回らない)」、「遅発性ジスキネジア(口をモグモグさせる・瞬きを繰り返す)」などがある。

練馬家族会主催 第7回講演会のお知らせ

テーマ：こころの病を知ろう ～さまざまな心の病気とその対応～

日時：平成17年2月18日（金）13：30～16：15

会場：石神井公園区民交流センター 2階集会室

講師：片山 信吾 医師（大泉病院副院長）

参加料：無料

こころの病は、誰もがかかる病気です。症状に悩む人は、10人に1人はいると言われています。また、自分や家族が、病気であることを知らずに、治療が遅れる例も少なくありません。こころの病は、日常的なストレスが多い現代社会においては、ごく普通の病気です。しかしながら、この病気に対しての偏見や無関心が、治療を遅らせる原因のひとつにもなっています。ひとりひとりが正しい知識を持つことで、この病気の予防ができます。

この講演会は、医療の現場で活躍されている医師から、精神病の代表である、うつ病や統合失調症はともかくとして、さまざまな種類のこころの病について、直接解説をいただける良い機会です。

講師には、丁寧な講義とウイットに富んだ語り口に定評のある、大泉病院副院長の片山先生をお招きします。少しでも関心を持たれた方は、ぜひこの機会に、こころの病に対する理解を深めてみませんか。

講演会へのお問い合わせ、参加お申し込みは、練馬家族会事務局（☎03-3994-3250）までどうぞ。



西武池袋線石神井公園駅下車北口より徒歩1分
お車の場合は、ピアレスB棟内の公共駐車場をご利用ください。(有料)



■講師プロフィール

片山 信吾（かたやま しんご）
昭和57年 慶應義塾大学医学部卒業、翌58年より大泉病院勤務。現在、大泉病院副院長であると同時に、分院である、あさか台メンタルクリニックの所長を務めている。

大泉病院文化祭訪問記

昨年11月13・14日の両日、大泉病院で文化祭が行われました。14日にYさん親子とSさんの4人で行ってきました。簡単に報告します。

午前中は、病院に隣接する生活訓練施設「ねくすと」のツアーに参加し施設内見学後、自家製のミント

ティーとクッキーをご馳走になりながら、利用者の方及びスタッフの方と懇談会をしてきました。施設の重要性を改めて認識しました。

午後からは、遊びと勉強を堪能しました。まず、展示作品の見学（OTメンバー・デイケアメンバー・職員

の作品はどれも力作ばかり）、デイケアメンバーによる呈茶をいただき、2時からの講演会の席につきました。テーマは「うつ病の理解と予防」でしたが、居眠りもできないくらい楽しくて分かりやすい講義でした。

閉鎖的なイメージを全く感じさせない大泉病院の今後に、益々期待したくなる一日でした。（編集部 高田）

書道教室「書心クラブ」 会員募集

先生の、精魂込めた懇切丁寧なご指導で、心からほっとできると喜ばれています。

※対象は当事者の居る家族に限ります。

第1、第3（日曜）2時～5時

区役所東館4F会議室

月謝3000円、教本1冊500円

どうぞ先ず見学してください

詳細問合せ先（小泉まで）

03-3995-2327, 090-8179-7130

～心の扉を開く医療がここにはあります～

都市型病院を

目指す



医療法人財団厚生協会

大泉病院

《診療科目》 精神科・神経科・心療内科・歯科

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 6-9-1

Tel・03-3924-2111（代表）Fax・03-3924-3389

家族会NOW!!

● NPO法人飛鳥会会報

昨年の福祉施設見学でお世話になった、特定非営利活動法人飛鳥会さんから、「あすかニュース No.30」をご送付いただきました。ありがとうございました。

● 文化交流会実行委員会

表題の催しが1月13日(木)、ほつとすぺーす練馬で行われました。広報の木下が出席しました。

● 練馬区共同ホーム連絡会

10月に行われた第1回学習会のアンケート結果をご送付いただきま

した。ありがとうございました。

● 練馬区新年賀詞交換会

1月7日(金)、としまえんホールで行われました。当会から、会長、副会長、役員の名が出席しました。

● 家族会事務所IT化

事務所がネットにつながりました。

精神保健福祉についての新聞記事

全家連、補助金不正流用の返還問題……その後

この事件は、家族会会員のみならず多くの国民が周知していることですが、2004年9月末までに債権団体に5億3900万円の返還を迫られていました。そうした経緯の中、全家連からも全家連再生寄付の依頼があり、当会会員からも暖かい志しがあつたと聞いています。

さて、その返還期限から2か月半後、全家連救済の記事が読売新聞に掲載されたという文面が「つくしだより」誌上に掲載されましたので、紹介いたします。

全家連借入金、厚労省が全額肩代わり…施設一時国有化

(読売新聞平成16年10月28日付け夕刊記事から引用)

さる2002年11月に補助金の不正流用が発覚した、厚生労働省所管の公益法人「全国精神障害者家族会連合会」(全家連)が、栃木県内に所

有する福祉施設の建設に伴って都市銀行などから借りている長期借入金5億3000万円について、厚労省は28日、全額肩代わりする方針を決めた。

全家連は借入金返済などで運営に行き詰まっており、これを救済するための措置。厚労省は、不正流用の舞台となった福祉施設についても一時、国有化し、受け皿を探した上で売却する。補助金を不正流用した団体の救済に国が乗り出すのは極めて異例だ。

全家連は、金融機関から約9億円を借り入れ、1996年、温泉ホテルと精神障害者の授産施設を併設した全国唯一の精神保健福祉施設「ハートピアきつれ川」を栃木県喜連川町に建設した。しかし、借入金の返済や人件費のやりくりに行き詰まり、授産施設の運営に使うべき国などからの補助金を借入金返済など目的外に流用していた。

2002年11月、不正流用の実態が発覚すると、国や日本財団など関係

5団体から総額5億3900万円の補助金の返還を求められ、全家連は長期借入金の残金5億3000万円とともに返済不能に陥った。

全家連は、組織の解散による解決策も検討したが、解散した場合、精神障害者の福祉事業を担う団体がほかにないため、厚労省は異例の救済措置を決めた。

今号のトップページに掲載した「グランドデザイン案」を本格化する動きもある中、精神障害者団体を代表する全家連をつぶすことで、その進展が遅れることを国は懸念しているようにも思えます。

最後になりましたが、9月末までに全家連に集まった寄付は、以下のようになっています。

全国の家族から……5千900万円
支える会から……1千300万円
計……7千200万円

(2004年12月号つくしだより 参照)

(編集部 高田)

HL パソコン教室

基本操作からホームページまで、パソコン書籍著者がマンツーマンで直接教えます。年配の方、初めての方でも大丈夫です。

週1回1時間のレッスン

入会金8,000円・月謝12,000円

無料体験講座随時実施中!!

場所：中村橋駅から徒歩5分

問合：03-3926-2451 (オフィス構内)

この会報をご覧になった方に限り

襖 貼替 特価 1枚 2,500円

障子貼替 特価 1枚 2,300円

その他、内装工事すべて

通常より1割5分引き

親切・丁寧にお引き受け致します。

電話：03-3992-6550

内装工事一式 襖・クロス

橋本表具店

広告募集

練馬家族会は、会員の皆様からの年会費と練馬区からの補助金等で、現在まで活動を続けていますが、現状の予算では活動に制約が出てきました。そこで、当会報や家族会ホームページに製作協力をお願いしております。練馬家族会のスポンサーとして、私達の活動を応援してください。よろしく願いいたします。

◆◇練馬家族会 入会のご案内◇◆

一人で悩んでいることも、誰かに話せば解決の糸口があるかもしれません。また、個人ではできない社会への働きかけも、皆で行なうことで、理想の実現が近づ

きます。この会報を読んでご興味を持たれましたら、是非当会に入会してください。私達と一緒に明るい福祉社会を築いて行きましょう。このページの右下に記載しています発行所まで、ご連絡ください。あなたのご入会をお待ちしております。（練馬家族会一同）

練馬家族会 2月スケジュール

2月18日(金) 13:30～16:15 ※詳細を6ページに掲載しましたので、ご覧ください。
練馬家族会主催第7回 講演会

区内各保健相談所「家族の集い」2月予定

※初めての方は、事前に、各保健相談所の家族教室担当保健師か、地域の担当保健師にご連絡ください。

2月4日(金) 14:00～16:00 光が丘保健相談所 光が丘 2-9-6 ☎03-5997-7722	2月8日(火) 10:00～12:00 大泉保健相談所 大泉学園町 5-8-8 ☎03-3921-0217
2月4日(金) 13:00～15:00 関保健相談所 関町北 1-21-15 ☎03-3929-5381	2月21日(月) 14:00～16:30 桜台保健相談所 豊玉上 2-22-15 ☎03-3992-1188
2月7日(月) 14:00～16:00 北保健相談所 北町 8-2-11 ☎03-3931-1347	2月21日(月) 14:00～16:00 石神井保健相談所 石神井町 7-3-28 ☎03-3996-0634

生活支援センター「きらら」2月スケジュール

[情]: 区情報公開室 2階
[職]: 区職員研修所 2階
[区]: 区役所 20階交流会場

※水曜日・祝日お休みです。
※その他、お問い合わせ・ご予約は、
☎03-3557-9222(きらら)まで直接お願いします。

オープンスペース [職]
毎週 土・日曜 12:00～20:00
オープンスペース [情]
毎週 月・金曜 17:00～20:00
毎週 木曜 13:00～20:00
(3日(木)は休み、17日(木)は17:00～)
オープンスペース [区]
毎週 火曜 13:00～20:00
(22日(火)は石神井庁舎13:00～16:00、その後 [情] 17:00～20:00)
オープンスペース [光が丘ボランティアセンター]
4日(金) 13:00～16:00
オープンスペース [関町ボランティアセンター]
18日(金) 13:00～16:00
オープンスペース [大泉ボランティアセンター]
25日(金) 13:00～16:00

面接相談(要予約) [情]
毎週 火金曜日 午前中(1日(火)は休み)

パソコン教室(要予約) [区]
1・8・15日(火) 14:00～16:00
パソコン開放 [職]
12・26日(土) 14:00～17:00
SST [情]
7・14・21日(月) 14:00～16:00

2月8日(火) 14:00～16:00 [情]
ワーキングトライ
2月10日(木) 16:00～ [公民館]
夕食作り・夕食会
2月12日(土) 13:30～ [職]
当事者の会(せきららの会)
2月17日(木) 13:30～16:00
スポーツ [臨床福祉専門学校]
2月26日(土) 16:00～ [職]
茶話会(利用者懇談会)
2月19日(土) 14:00～ [職]
茶道の日

1～3日は、大泉学園ゆめりあで『ゆめきらら2005』があります。

＊ ＊ ＊ 編集後記 ＊ ＊ ＊

2月を如月と言いますが、「更に衣を重ねる」が転じ衣更着とも書きます。話は飛躍しますが、統合失調症の原因の一つに遺伝が関与していることが解明されつつあります。かつては業病とも言われ、病に罹患した人を座敷牢で監禁した時代もあり、家族は家全体を衣ですっぽりと包み込み、ひっそりと暮らしてきました。その一方では、病の原因を遺伝でもない、育て方でもない、歯に衣を着せたような言い方をされ、では、いったい何が原因なのかと逡巡し、その挙げ句には「祟りだ」と身内に言われた時の悲しさは、己の人格まで否定された思いでした。ですが、今後、多方面からのアプローチで、この病の原因が一枚一枚服を脱ぐようにその本質が解明されつつあります。「冬来たりなば春遠からじ」に倣い、当事者を抱える家族の方々も重い衣を脱ぎ、来たるべき春の準備をしてください。そして、家族会事務所のドアを開けてもらえれば、春はもつともつと近くなります。

精神障害を2障害と同様にするグランドデザイン案が今国会で論議されます。改めて、家族が置かれている立場をじっくりと考える、良い機会ではないでしょうか。(高田悦子)

練馬家族会 会報 2005年2月号

2003年11月創刊 通巻第15号
発行日: 2005年1月25日
発行所: 福祉団体 練馬家族会
東京都練馬区栄町18-12
Tel・Fax 03-3994-3250
発行人: 橋本邦子(練馬家族会会長)
編集: 練馬家族会 会報編集部
制作: office BOYA
東京都練馬区中村北2-25-5
Tel・Fax 03-3926-2451
印刷所: 有限会社 弘文堂印刷所